

## ■第14回代議員懇談会開催のお知らせ

標記懇談会を下記の通り、第70回年次大会会場（早稲田大学）にて開催します。

代議員の方には別途、開催通知をお送りいたします。

なお、代議員ではない正会員の方が、オブザーバーとして懇談会に参加され、必要に応じ会長の許可を得て意見を述べられることは可能です。参加をご希望の場合、その旨を予め本会事務局宛にお申し出下さるようお願いいたします。

記

開催日時：2015年3月21日(土) 17時30分～19時00分

開催場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館 6階 604号室（東京都新宿区西早稲田1-6-1）

懇談テーマ：

1. 総会議案資料説明
2. 財政基盤の整備
3. その他

## ■第95回定時総会開催のお知らせ

下記の通り、総会を3月31日(火)に学会事務局の会議室にて開催いたします。

総会は一般社団・財団法人法上の社員である代議員の出席（委任状や議決権行使書によるものを含む）により開催されます。代議員氏名は昨年の会誌8号本会記事欄（電子版にはありません）または本会ホームページ「理事／監事」のページを参照して下さい。

代議員の方には別途、開催通知をお送りいたします。

なお、代議員ではない正会員の方が、オブザーバーとして総会に参加され、必要に応じ会長の許可を得て意見を述べられることは可能です。参加をご希望の場合、その旨を予め本会事務局宛にお申し出下さるようお願いいたします。

記

開催日時：2015年3月31日(火) 14時00分～16時00分

開催場所：東京都文京区湯島2-31-22湯島アーバンビル4階  
一般社団法人 日本物理学会 会議室

議案：

1. 第71～72期理事の選任
2. 第71～72期監事の選任
3. 第71期会長の選定
4. 第71期副会長の選定
5. 2014年度(1月～12月)貸借対照表および正味財産増減計算書の承認
6. 名誉会員の承認
7. 会費改定の承認

報告事項：

1. 2014年度(1月～12月)事業報告
2. 2015年度事業計画、予算書
3. 公益目的支出計画実施報告書

## ■第70回年次大会の参加登録・講演概要集のWeb登録受付中（昨年からの新しい受付方法です）

\* 取扱い期間：2015年3月5日(木)～会期最終日12時

参加登録と講演概要集のWeb登録・事前クレジットカード決済払いの受け付けを行っています。本支払いは昨年からの新たな

方法で、これは大会現地での現金取扱い額を少なくするためと、クレジットカード払いへの要望に応えたものです。ただし、受付でクレジットカードを提示し決済する方式ではなく、予めWeb上で決済を完了する方式で、次の特典があります。

・割引あり

・Webから登録し、決済。現金不要。

詳しい申し込み方法は、会誌1月号会告、または次のホームページのURLをご参照下さい。

<http://www.toyoag.co.jp/jps/index.html>

## ■2015年秋季大会・講演募集掲載号

・4月号：講演募集要項

・8月号増刊号：プログラム冊子

## ■2015年秋季大会の企画募集

2015年秋季大会（素核宇関係：9/25-28 大阪市立大学、物性関係：9/16-19 関西大学）の企画を募集します。招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの位置付けは以下の通りです。

1. 招待講演：すでに成果が挙げられた研究において、その研究の中心的な役割を担った研究者に一般講演よりも長い時間で行っていただく講演。
2. 企画講演：一般講演よりも長い時間で行う次のような講演。
  - ・今後成果が期待される分野の研究者による新鮮なテーマ
  - ・国際交流を視野に入れた講演
  - ・各種受賞記念講演（若手奨励賞受賞記念講演を除く）
  - ・その他、会員にとって魅力的な要素をもった講演
3. チュートリアル講演：他分野の研究者および大学院生等の初学者に対する解説を主とした講演。  
丁寧に関わりやすく講義形式で講演していただくために、招待・企画講演よりも長めの時間設定が可能。
4. シンポジウム講演：ある一つのテーマに沿って、様々な角度からそのテーマを代表する研究者に一般講演とは違った時間枠でしていただく一続きの講演。

これらはいずれも開催する領域の多くの会員が興味を持つとされるものを前提といたします。

### I. 招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの規則

1. **自薦提案の禁止**：招待講演、企画講演、チュートリアル講演を通じて、提案者と講演者（推薦理由に掲げる論文の共著者を含む）が同一の提案書は審査の対象としない。
2. **重複登壇の禁止**：招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムを通じて講演登壇は1回とする（シンポジウムでの10分以内の「趣旨説明」や「まとめ」等の登壇は、ここでいう講演とはみなさない）。ただし、特別な理由がある場合に限り、領域委員会の審議および理事会の承認により許可することがある（この場合、重複登壇する登壇者の了解のもとで、関連する企画の提案者の連名で、重複登壇せざるを得ない理由を記した理由書を提出すること）。
3. **提案者の責務**：シンポジウム提案者は、10分以内の「趣旨説明」または「まとめ」の登壇者として加わることができる。また、当該企画が滞りなく開催されるよう座長の一人としての任を果たすとともに、概要集原稿や会期後の報告にも責任を持って協力することとする。また、総合討論や

パネル討論等を設ける場合は、提案者は、パネリストとしてではなく、座長もしくは司会者という立場でのみ加わることができる。

4. シンポジウムにおける所属重複規制：シンポジウムを構成する講演（「趣旨説明」や「まとめ」等を除く）は、一つの所属に偏らないことを原則とし、一つのシンポジウムで同じ部門（学科・専攻など）から2名以上の講演者が含まれている場合は、特別な理由がなければ認められない（特別な理由とは、異なる研究グループに属し、実験と理論など専門が異なる場合で、シンポジウム遂行にとって重要な講演者と判断できる場合とする。なおシンポジウムの講演者所属欄において、所属を略称表記すると同一になってしまうものは、違いがわかるように研究グループ名や研究室名まで記載すること）。さらに、シンポジウムにおいて、「趣旨説明」や「まとめ」等の登壇者と講演者が同一研究室であることは認められない。また、提案者と講演登壇者が同一研究室である場合も審査の対象としないことがある。

※シンポジウムは、特定グループの広報の場ではなく、重要なトピックについて広く議論を進める場です。所属重複規制は、同一グループの広報の場にならないように設けた規則です。

5. シンポジウムにおける占有時間規制：素核宇領域においては、休憩時間を含めて原則として3.5時間に収めるものとし、4時間を超えてはならない。物性関係においては、休憩時間を含めて原則3.5時間以内とする。

6. その他の約束ごと：

- 1) 招待講演、企画講演、チュートリアル講演、およびシンポジウムにおける講演の登壇者（およびプログラム記載）は1名に限るとする。
- 2) 講演概要集の原稿はシンポジウムの「趣旨説明」や「まとめ」も含めて各登壇者2枚（1ファイル4MB以内）までとする。
- 3) 提案者は、予め、講演者の方々に候補として推薦する旨の内諾を得ておく（重複登壇回避のため）。
- 4) 海外在住の講演者の方については、原則として提案者を通して連絡を取るようになる（提案者以外の方が仲介者となる場合には、その旨ご連絡ください）。
- 5) 前回の大会とあまり内容の変わらない招待講演、企画講演、チュートリアル講演ならびにシンポジウムは原則採択されない。

## II. 招待講演・企画講演・チュートリアル講演、シンポジウムの提案方法

提案方法は、素核宇領域と物性領域とで異なります。下の記述に従ってそれぞれ、提案を募集します。

なお、提案申込書には

- 1) 見込まれる聴講者数、講演希望日程、講演不可日等の事項を必ず記入すること（領域によっては複数の企画を並行して開催できないために講演希望日などの希望に沿えないことがあります。講演日やその他の希望がある場合は、必要に応じて、提案者は領域運営委員に連絡をとるようにしてください）。
  - 2) 登壇者の会員番号（非会員の場合はその旨を記入）と電子メールアドレスを必ず記入すること。
- を徹底するようお願いいたします。

## 1. 素核宇領域

素核宇領域における招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの企画は領域運営委員会を中心として企画された後、素核宇領域プログラム小委員会および領域委員会において提案・審議され、理事会において実施する企画が決定されます。

各領域運営委員の氏名と所属は、次の通りです。

- 素粒子論領域： 川野 輝彦（東大院理）  
浅賀 岳彦（新潟大自然科学）  
青木 保道（名大素粒子宇宙起源機構）
- 素粒子実験領域： 戸本 誠（名大院理）  
西田 昌平（KEK素核研）
- 理論核物理領域： 肥山詠美子（理研仁科セ）  
鈴木 克彦（東理大理）
- 実験核物理領域： 矢向謙太郎（東大CNS）  
中野 健一（東工大院理工）
- 宇宙線・宇宙物理領域： 三代木伸二（東大宇宙線研）  
郡 和範（高エネ機構）

## 2. 物性領域

物性関係における招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの企画を以下の通り一般会員から公募します。提案を希望する方は、以下の提案申込方法により、受付期間内にお申込みください。

### 1) 物性領域に含まれる分野

- 領域 1：原子分子・量子エレクトロニクス・放射線  
領域 2：プラズマ  
領域 3：磁性  
領域 4：半導体、メゾスコピック系・局在  
領域 5：光物性  
領域 6：金属（液体金属・準結晶）・低温（超低温・超伝導・密度波）  
領域 7：分子性固体  
領域 8：強相関電子系  
領域 9：表面・界面、結晶成長  
領域10：構造物性（誘電体、格子欠陥、X線・粒子線、フォノン）  
領域11：物性基礎論・統計力学・流体物理・応用数学・社会経済物理

領域12：ソフトマター物理・化学物理・生物物理

領域13：物理教育・物理学史・環境物理

### 2) 公募受付期間

2015年4月6日(月)～4月24日(金)

### 3) 提案申込方法

下記URLより受付期間中にお申込みください。登録が完了すると登録番号ならびにパスワードがメールで返信されますので、必ずご確認ください。登録番号、パスワードがお手元に届かない場合は、登録時に入力したメールアドレスが間違っている、或いは、正常に登録されていないことが考えられますので、必ずお問い合わせください。

受付期間中は登録番号、パスワードによって何度でも提案内容を修正できますので、期間中に入力内容に変更が生じた場合は、速やか且つ正確に修正をお願いします。

URL: <https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/>

### 4) 提案する上での注意事項

上記「I. 招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの規則」に従ってお申込みください。

5) 採択の手順

各領域において領域代表と領域運営委員が提案書を検討後、物性プログラム小委員会および領域委員会において提案・審議され、

理事会において実施する企画が決定されます。各提案の採否の結果につきましては、提案者に後日通知します。